

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 20 年度
------------	----------

(1) 政策	コード 20	名称 (1) 地域資源を活かした活力あるまちづくり
--------	-----------	------------------------------

(5) 評価責任者職名	産業振興部長
-------------	--------

(6) 評価責任者氏名	半田 泰士
-------------	-------

(2) 基本施策	コード 42	名称 ① 持続的で個人的な農林業を実践する	(3) 生活課題	42	地域の特徴を活かした農林業が持続している
----------	-----------	--------------------------	----------	----	----------------------

(7) 評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長
---------	---------------------------------

(9) 継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果								
					H19 決算額	H20 予算 額・補 正要求 額	H21 要求 見込額	人	人件費	(14) 指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
											(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		
継続	631	鳥獣害防止事業	553500	伊賀支所産業建設課	208	512	512	0.2	1,440	受益面積	15	25	ha	I	4	4	3	3	A	現状維持
継続	717	鳥獣害防止事業	603500	鳥ヶ原支所産業建設課	160	270	270	0.2	1,440	受益面積	183	80	a	I	4	3	4	3	A	現状維持
継続	793	鳥獣害防止事業	653500	阿山産業建設課	171	270	270	0.1	720	鳥獣害による被害面積	340	280	a	I	4	4	3	4	A	現状維持
継続	890	鳥獣害防止事業	703500	大山田支所産業建設課	445	360	480	0.2	1,440	受益面積	753	753	ha	I	4	4	3	3	A	拡大
継続	1002	獣害防止事業	753500	青山支所 産業建設課	428	450	450	0.1	720	施業面積	10	4	ha	I	4	4	4	2	A	現状維持
継続	334	中山間地域等直接支払交付金事業	160100	農林振興課	12,681	12,351	12,351	0.2	1,440	集落協定を維持できる集落の確保率	100	100	%	I	4	4	4	3	A	拡大
継続	632	中山間地域等直接支払交付金事業	553500	伊賀支所産業建設課	20,098	19,898	19,898	0.2	1,440	協定区域内耕作放棄地発生面積	0	0	ha	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	718	中山間地域等直接支払交付金事業	603500	鳥ヶ原支所産業建設課	15,220	15,220	15,220	1.0	7,200	協定農用地面積/対象農用地面積	99	100	%	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	795	中山間地域等直接支払交付金事業	653500	阿山産業建設課	29,696	29,715	29,715	0.5	3,600	協定内容の履行率	100	100	%	I	4	3	4	3	A	現状維持
継続	891	中山間地域等直接支払交付金事業	703500	大山田支所産業建設課	4,011	4,011	4,011	0.2	1,440	集落協定を維持できる集落の確保率	100	100	%	I	4	4	4	4	A	現状維持

2次評価										(33) その他の改革改善点について
(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について			
無	—	—	無	※コード358, 640, 723, 801, 898, 1012 及び335事業を包括	1G	a	農業関係者のニーズが高い政策として鳥獣被害防止対策法が施行され事業の高度化期待が高まっている。	国の政策資源を活用できるよう鳥獣被害防止計画を定め国の採択を得る必要がある		
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上		
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上		
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上		
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上		
無	—	—	無	—	2G	b				
無	—	—	無	—	2G	b				
無	—	—	無	—	2G	b				
無	—	—	無	—	2G	b				
無	—	—	無	—	2G	b				

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 20 年度
------------	----------

(1) 政策	コード 20	名称 (1) 地域資源を活かした活力あるまちづくり
--------	-----------	------------------------------

(5) 評価責任者職名	産業振興部長
(6) 評価責任者氏名	半田 泰士

(2) 基本施策	コード 42	名称 ① 持続的で個人的な農林業を実践する	(3) 生活課題	42	地域の特徴を活かした農林業が持続している
----------	-----------	--------------------------	----------	----	----------------------

(7) 評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長
---------	---------------------------------

(9) 継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標) 指標の数値	1次評価結果										
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14) 指標名	(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
																(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		
継続	1003	中山間地域等直接支払交付金事業	753500	青山支所 産業建設課	11,390	11,390	11,390	0.2	1,440	協定面積	84	84	人	I	4	4	4	4	A	現状維持	
継続	335	鳥獣害対策事業	160100	農林振興課	0	18,222	2,000		0	獣害防止対策の累積箇所	0	2	所	I	4	3	1	3	B	変更	
継続	340	バイオマスタウン推進事業	160100	農林振興課	663	450	450	0.1	720	バイオマスタウン推進委員会の活動数	3	5	回	I	4	4	4	3	A	継続	
継続	343	生産調整推進対策事業	160100	農林振興課	16,152	6,700	17,500	0.1	720	地域営農の組織化	64	70	組織	I	4	4	4	3	A	拡大	
継続	1007	生産調整推進対策事業	753500	青山支所 産業建設課	100	55	55	0.02	144	農家(会員)数	31	31	戸	I	4	4	4	4	A	現状維持	
継続	344	土地改良事業管理経費	160400	産業振興部 農村整備課	2,552	5,174	6,100	0.1	720	施設全体の維持費	90	80	%	I	4	4	4	4	A	現状維持	
継続	636	土地改良事業管理経費	553500	伊賀支所産業建設課	5,000	3,500	3,500	0.1	720	土地改良事業実施率	94	94	%	I	4	4	3	3	A	現状維持	
継続	797	土地改良事業管理経費	653500	阿山支所 産業建設課	3,700	2,591	2,591	0.2	1,440	改良区事務費予算に占める補助金割合	24	17	%	I	4	3	4	3	A	現状維持	
継続	345	土地改良施設維持管理適正化事業	160400	産業振興部 農村整備課	16,110	14,085	12,280	0.5	3,600	事業採択箇所数	2	1	箇所	III	4	4	3	4	A	拡大	
継続	346	市単土地改良事業	160400	産業振興部 農村整備課	26,569	22,479	47,900	1.5	10,800	市単工事箇所	10	15	箇所	III	4	4	4	4	A	拡大	

2次評価										(33) その他の改革 改善点について
(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について			
無	—	—	無	—	2G	b				
無	—	—	無	※コード322, 631, 717, 793, 890, 1002事業及び358, 640, 723, 801, 898, 1012に包括	1G	f	農業関係者のニーズが高い政策として鳥獣被害防止対策法が施行され事業の高度化期待が高まっている	国の政策資源を活用できるよう鳥獣被害防止計画を定め国の採択を得る必要がある		
無	—	—	無	※コード2109事業を包括	1G	f	伊賀市バイオマスタウン構想に基づく事業者の事業展開が見込まれる	伊賀市バイオマスタウン構想の具現化に向けては、民間活力の導入を図る必要がある。		
無	—	—	無	—	2G	b				
無	—	—	無	—	2G	f				
無	—	—	無	—	3G	c				
無	—	—	無	—	3G	c				
無	—	—	無	—	3G	c				
無	—	—	無	—	1G	a		平成22年度以降頭首工改修2箇所の大規模改修が見込まれる		
無	—	—	無	—	1G	a				

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 20 年度
------------	----------

(1) 政策	コード	名称
	20	(1) 地域資源を活かした活力あるまちづくり

(5) 評価責任者職名	産業振興部長
-------------	--------

(6) 評価責任者氏名	半田 泰士
-------------	-------

(2) 基本施策	コード	名称	(3) 生活課題	42	地域の特徴を活かした農林業が持続している
	42	① 持続的で個人的な農林業を実践する			

(7) 評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長
---------	---------------------------------

(9) 継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果								
					H19 決算額	H20 予算額・補正要求額	H21 要求見込額	人	人件費	(14) 指標名	指標の数値		(17) 指標の単位	(18) 評価類型	個別評価				(24) 方向性	
											(15) 19年度(実績)	(16) 21年度(目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		(23) 総合評価
継続	637	市単土地改良事業	553500	伊賀支所産業建設課	1,576	983	983	0.1	720	申請件数	22	20	件	Ⅲ	4	4	4	3	A	現状維持
継続	721	市単土地改良事業	603500	鳥ヶ原支所産業建設課	186	255	255	0.2	1,440	工事件数	2	3	件	Ⅲ	4	4	4	3	A	現状維持
継続	798	市単土地改良事業	653500	阿山支所 産業建設課	1,437	723	1,000	0.2	1,440	土地改良事業等の対応件数	7	7	件	Ⅲ	4	3	3	3	A	現状維持
継続	895	市単土地改良事業	703500	大山田支所産業建設課	1,400	638	1,400	0.2	1,440	工事件数	3	7	件	Ⅲ	4	4	3	3	A	拡大
継続	1008	市単土地改良事業	753500	青山支所 産業建設課	5,452	4,230	4,230	0.2	1,440	コンクリート舗装延長	1,245	900	m	Ⅱ	4	4	4	4	A	現状維持
継続	347	県単土地基盤整備事業	160400	産業振興部 農村整備課	2,240	3,000	5,000	0.2	1,440	事業採択箇所数	1	1	地区	Ⅲ	4	4	4	4	A	現状維持
継続	348	県営事業負担金	160400	産業振興部 農村整備課	156,713	204,759	219,600	1.0	7,200	伊賀広域農道整備率	85	100	%	Ⅲ	4	4	4	3	A	拡大
継続	349	農地等高度利用促進事業	160400	産業振興部 農村整備課	47,575	24,240	33,000	1.0	7,200	事業採択箇所数	2	2	地区	Ⅲ	4	4	4	3	A	拡大
継続	350	県単農村集落機能強化支援事業	160400	産業振興部 農村整備課	0	3,000	5,000	0.5	3,600	事業完了地区数	0	3	地区	Ⅲ	4	4	1	4	B	拡大
継続	351	農地・水・農村環境保全向上対策事業	160400	産業振興部 農村整備課	16,079	23,210	26,280	2.0	14,400	共同活動地区数	25	37	地区	I	4	4	4	4	A	拡大

2次評価									
(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について	(33) その他の改革改善点について	
無	—	—	無	—	1G	f			
無	—	—	無	—	1G	f			
無	—	—	無	—	1G	f			
無	—	—	無	—	1G	f			
無	—	—	無	—	1G	f			
無	—	—	無	—	3G	e		三重県予算の縮小により将来は廃止が見込まれる	
無	—	—	無	—	1G	a			
無	—	—	無	—	2G	b			
無	—	—	無	—	3G	c		当面三重県予算の縮小が見込まれるが、将来的には事業が拡大される。	
無	—	—	無	—	1G	a		農地・水・環境保全対策事業への取組誘導を図ることにより施設維持活動を強化する。	

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(1)政策	コード 20	名称 (1)地域資源を活かした活力あるまちづくり
-------	-----------	-----------------------------

(5)評価責任者職名	産業振興部長
(6)評価責任者氏名	半田 泰士

(2)基本施策	コード 42	名称 ①持続的で個人的な農林業を実践する	(3)生活課題	42	地域の特徴を活かした農林業が持続している
---------	-----------	-------------------------	---------	----	----------------------

(7)評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長
--------	---------------------------------

(9)継続・新規 (20.21. 22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標) 指標の数値	1次評価結果									
					H19 決算額	H20 予算 額・補 正要求 額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(24) 方向性
																(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性	
継続	352	農村振興総合整備事業(上野西部地区)	160400	産業振興部 農村整備課	84,230	181,400	8,000	2.0	14,400	工事予定残箇所数	5	1箇所	Ⅲ	4	4	3	4	A	現状維持	
継続	357	林業振興経費	160100	農林振興課	9,000	7,830	7,830	0.2	1,440	補助件数摘要比率(補助件数/申請件数)	86	100%	I	4	4	4	4	A	現状維持	
継続	897	林業振興経費	703500	大山田支所 産業建設課	1,619	962	1,600	0.2	1,440	巡視による路肩崩落等の通行障害や不法投棄の報告回数	24	30回	I	4	3	3	3	A	現状維持	
継続	1011-1	林業振興経費(間伐材利用促進補助)	753500	青山支所 産業建設課	1,000	400	400	0.1	720	施設設置数	2	1箇所	I	4	4	4	4	A	現状維持	
継続	1011-2	林業振興経費(緊急間伐対策完了検査、緊急間伐対策補助)	753500	青山産業建設課	12,197	10,155	11,155	0.2	1,440	補助事業実施者	119	170人	I	4	4	3	4	A	現状維持	
継続	1011-3	林業振興経費(森林林業振興対策補助)	753500	青山支所 産業建設課	297	220	220	0.1	720	会員を対象としない研修会・催し等参加者数(フェスタ来場者除く)	212	200人	I	4	4	3	2	B	現状維持	
継続	358	有害鳥獣駆除事業	160100	農林振興課	8,846	6,794	8,000	0.2	1,440	駆除要望に対する駆除出动割合	100	100%	I	4	3	4	3	A	拡大	
継続	640	有害鳥獣駆除事業	553500	伊賀支所 産業建設課	8	59	59	0.2	1,440	サル捕獲頭数	0	1頭	I	4	3	2	3	B	現状維持	
継続	723	有害鳥獣駆除事業	603500	鳥ヶ原支所 産業建設課	252	252	252	0.2	1,440	有害鳥獣駆除数	23	20頭	I	4	3	4	3	A	現状維持	
継続	801	有害鳥獣駆除事業	653500	阿山産業建設課	0	142	140	0.1	720	駆除個体数(猿)	0	4頭	I	4	3	3	4	A	現状維持	

2次評価									
(25)1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28)改革改善案修正の有・無	(29)修正点	(30)優先度区分	(31)方向性	(32)方向性の評価について	(33)その他の改革改善点について	
無	—	—	無	—	4G	d	事業として一定の成果を得たため収束の方向		
無	—	—	無	—	2G	f		国の低酸素社会づくり行動計画による支援枠が期待できる環境になるまで現状を維持	
無	—	—	無	—	4G	c			
無	—	—	無	—	2G	f			
無	—	—	無	—	3G	c			
無	—	—	無	—	3G	c			
無	—	—	無	※コード358, 640, 723, 801, 898, 1012及び335に包括する	1G	a	農業関係者のニーズが高い政策として鳥獣被害防止対策法が施行され事業の高度化期待が高まっている。	国の政策資源を活用できるよう鳥獣被害防止計画を定め国の採択を得る必要がある	
有	効率性3⇒4 総合評価B⇒A	雌の親猿を捕獲することの困難性があるが、システムの有効性は公認されている	無	同上	1G	a	同上	同上	
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上	
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上	

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 20 年度
------------	----------

(1) 政策	コード 20	名称 (1) 地域資源を活かした活力あるまちづくり
--------	-----------	------------------------------

(5) 評価責任者職名	産業振興部長
-------------	--------

(6) 評価責任者氏名	半田 泰士
-------------	-------

(2) 基本施策	コード 42	名称 ① 持続的で個人的な農林業を実践する	(3) 生活課題	42	地域の特徴を活かした農林業が持続している
----------	-----------	--------------------------	----------	----	----------------------

(7) 評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長
---------	---------------------------------

(9) 継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果								
					H19 決算額	H20 予算 額・補 正要求 額	H21 要求 見込額	人	人件費	(14) 指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
											(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		
継続	898	有害鳥獣駆除事業	703500	大山田支所産 業建設課	1,390	1,040	1,388	0.3	2,160	受益面積	753	753	ha	I	4	3	3	3	A	現状維持
継続	1012	有害鳥獣駆除事業	753500	青山支所 産 業建設課	120	60	60	0.0	144	駆除数	4	2	頭	I	4	4	4	2	A	現状維持
継続	359	森林環境創造事業	160100	農林振興課	8,866	17,797	14,728	0.5	3,600	環境林整備面 積	27	61	ha	I	4	4	4	3	A	現状維持
継続	362	県単林道整備事業	160400	産業振興部 農村整備課	2,900	3,000	3,000	0.1	720	工事路線数	2	1	箇所	III	4	3	4	3	A	現状維持
継続	354	国土調査事業	160100	産業振興部 農村整備課	19,410	8,600	20,000	4.0	28,800	調査の進捗率		23.3	%	I	4	4	4	3	A	拡大
継続	894-1	大山田農林業公社支援事業	703500	大山田支所産 業建設課	7,600	7,600	7,600	0.2	1,440	農地流動化率	14	18	%	I	4	4	4	4	A	拡大
継続	894-2	大山田農事生産組合協議会助 成金	703500	大山田支所産 業建設課	100	55	55	0.2	1,440	組織加入団体 数	43	50	%	I	4	4	4	4	A	現状維持
継続	899	森林保育造林事業	703500	大山田支所産 業建設課	1,319	780	1,300	0.2	1,440	施業面積	80	80	ha	I	4	3	3	3	A	現状維持
継続	1013	森林保育造林事業	753500	青山支所 産 業建設課	861	1,200	1,200	0.1	720	施業面積	33	200	ha	I	4	3	2	4	A	拡大
継続	1004	キハダ栽培推進事業	753500	青山支所 産 業建設課	17	50	50	0.1	720	新規植栽本数	350	1,500	本	I	4	4	2	4	A	現状維持

2次評価									
(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について	(33) その他の改革改善点について	
無	—	—	無	同上	1G	a	農業関係者のニーズが高い政策として鳥獣被害防止対策法が施行され事業の高度化期待が高まっている。	国の政策資源を活用できるよう鳥獣被害防止計画を定め国の採択を得る必要がある	
無	—	—	無	同上	1G	a	同上	同上	
無	—	—	無	—	2G	f			
無	—	—	無	—	2G	f			
無	—	—	無	—	1G	a			
無	—	—	無	—	2G	b	伊賀市菜の花プロジェクトの担い手として事業化を推進しており伊賀市全域での事業展開を可能とする設備を構築している	伊賀市全域での活動体として業務拡大できるよう組織改革を求めている。	
無	—	—	無	—	4G	c	地域連携による新しい特産品開発に取り組むなど地域資源活用プログラムの実践が望まれる。	農事生産組合など法人化を推進することで強い農業生産性を確保しようとする「農業のあるべき姿」づくりを近い将来において拡大支援する必要がある。	
無	—	—	無	—	4G	c			
無	—	—	無	—	4G	c			

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	20	(1)地域資源を活かした活力あるまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	42	地域の特徴を活かした農林業が持続している
	42	①持続的で個人的な農林業を実践する			

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(5)評価責任者職名	産業振興部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	半田 泰士
------------	-------

(7)評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長
--------	---------------------------------

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	1次評価結果									
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				
												(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性	(23) 総合 評価
継続	1005	ふるさと水と土保全対策事業	753500	青山支所 産業建設課	208	220	165	0.1	720	年次計画の達成度	100	100%	件	I	4	4	4	4	A	現状維持
20新規	2083	農山村移住・交流活性化促進事業	160100	農林振興課	0	1,050	1,350	0.2	1,440	企業との交流回数			件	I	4	4		4	A	
21新規	2109	バイオマスタウン推進事業	160100	農林振興課	0	0	2,000,000		0	廃棄物系・未利用系賦存量(施設利用数量)			t	II	4	4		4	A	
21新規	2110	農村振興総合整備事業(上野北・中央地区)	160400	産業振興部 農村整備課	0	0	10,000	2.0	14,400	工事進捗率	—	—	%	III	4	4		4	A	

2次評価									
(25)1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28)改革改善案修正の有・無	(29)修正点	(30)優先度区分	(31)方向性	(32)方向性の評価について	(33)その他の改革改善点について	
無	—	—	無	—	4G	c	平成17年度から21年度までの全額基金運用財源による県採択事業であり市負担がない。一定の事業成果を得ているため事業終了される見込み	市費負担を見込まない事業であり事業継続を県に働きかける必要がある。	
有	方向性⇒拡大	政策トレンドにマッチング	無	—	1G	a	21世紀新農政ビジョンや定住自立圏構想(国)等による地方の取組	国土形成計画法の運用ほか伊賀市地域活性化計画の具現化	
有	方向性⇒拡大(新規) 総合評価⇒A	政策トレンドにマッチング	無	※コード340事業に包括	1G	a	伊賀市バイオマスタウン構想に基づく事業者の事業展開が見込まれる	伊賀市バイオマスタウン構想の具現化に向けては、民間活力の導入を図る必要がある。	
有	方向性⇒拡大(新規)	政策トレンドにマッチング	無	—	1G	a	伊賀市農村総合計画審議会による計画推進事業	上野地区計画の最終章として取組む必要がある	

全 64 事業

1G=10 2G=9 3G=9 4G=9 GT37